



【コミュニティスクール(CS)とは？】

保護者や地域住民が学校運営に参画することで「地域とともにある学校」を実現する仕組みです。学校と地域が協働し、子どもの学びと地域づくりを一体的に進めることが目的とされています。

【1学期の活動報告】

1学期の活動が無事に終了しました。今年度もたくさんの地域の方々に協力していただき、生徒の活動もより実りあるものとなりました。本当にありがとうございました。今後も生徒の深い学びのため、ご協力をお願いできましたら幸いです。よろしくお願いします。

① 1年生家庭科の浴衣着付け授業に、地域の方々が来て手伝って下さいました。(7/1・10)



＜生徒感想＞

帯や浴衣の色、柄が違っただけで印象がガラリと変わった。洋服が日常的で普段和服を着ないので、浴衣は華やかで素敵だと思った。

帯を締めるとき、きつかった。だけどボランティアの人は、浴衣を着ると姿勢が良くなると言っていた。浴衣を着るのは、柄を選んだり帯の組み合わせをしたりする楽しみがあった。

帯の結び方が複雑で難しかった。この難しい着付けをしているボランティアの方々はスラスラと着付けができていてすごいと思った。

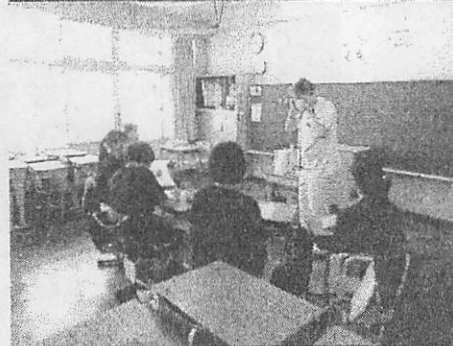
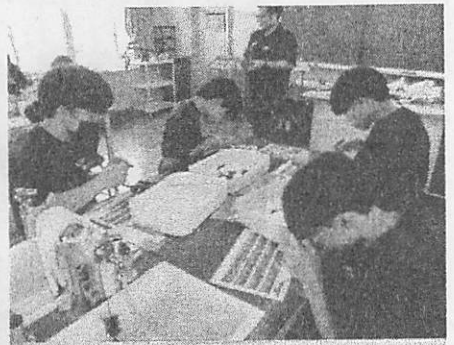
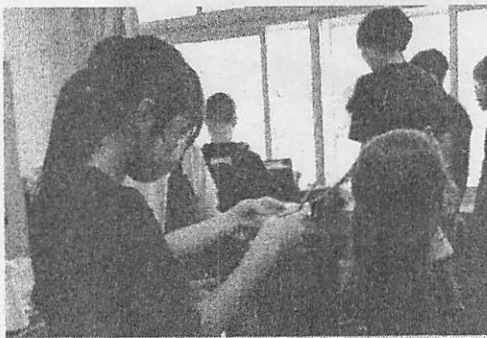
② 1年生総合の時間に、民生委員さんが福祉についてお話ししてくださいました。(7/8)



<生徒感想>

今回民生委員さんのお話を伺い、民生委員さんのことと地域の福祉についてわかりました。私たち中学生でも福祉は可能であり、地域の行事に参加して地域の人を知ったり、挨拶や声かけで地域との繋がりを強くしたりしたいです。それに加えて、近所の方の家の新聞や洗濯物の様子を見て違和感を感じたらそれを大人に伝えることができるようになりました。まずは民生委員さんがおっしゃってくださったよう、困っている人には「どうかされましたか。」と声をかけたりして身近なことから動いていきたいと思います。

③ 2年生総合の時間に、地域の方々が職業について講話をしてくださいました。(7/10)



<生徒感想>

私のなりたい職業の1つは助産師なので、聞いていてとても楽しかったです。ドラマでは、赤ちゃんを取り出すところしか出なかったので怖いと思っていたけど、講話を聞いて、母のケア、赤ちゃんのお世話、赤ちゃんを取り出す仕事など助産師の仕事が幅広いことがわかりました。「命を預かる、生きるか死ぬか、どっちも助けなきゃ、体力勝負」と聞いて、やる気、自信は少しダウンしたけどやりがいがあるって自分にもプラスになる仕事なのかなと思いました。リアルな話が聞けて楽しかったです。

私は今回話を聞いて、理容師の仕事はただ髪を切ったり、シェービングをしたりするだけでなく、お客さんに寄り添える仕事であると学びました。私も将来お客さんに喜んでもらうために仕事をしようと思うことができました。